

【研究室名】

機能高分子科学研究室

【担当教員】

客員教授 本田 崇宏、榎本 裕志、客員准教授 岡部 高明

【教育目的】

有機合成化学を基盤として製薬科学に関する研究テーマを通して、課題抽出力、課題解決力を身に付け、社会に役立つ人材を育成する。

【指導方針】

「モノ作り」に夢を持ち、その実現のために努力を惜しまない人材の育成を柱として、研究・教育を行う。そのために、研究背景や位置づけの理解、実験計画・手法、結果の解析、考察、結論の導き方などの習得を重視する。正確で信頼性のあるデータを創出できる基本的な実験能力を身に付ける。安全衛生面での配慮ができること。

【ゼミナール】

最新の研究動向の理解、資料作成、プレゼンテーション、ディスカッション手法を学ぶため、研究報告会、抄録会を実施している。

- (1) **研究報告会**：研究の進捗等について、月1回の割合で報告し、ディスカッションする。発表はパワーポイント等を利用して行う。
- (2) **抄録会**：前期、後期最低1回ずつ最新の研究課題に関連する外国語論文について発表する。
- (3) **学会、セミナー、シンポジウム等への参加**：学内講演会以外にも、学外の学会等への参加を促し、外部の最先端研究者の研究成果に触れる機会を持つ。

【参考書】

特に定めていないが、基礎学力を充実するため下記の書籍を推奨する。

- ・ボルハルト・ショアー著、「現代有機化学第6版上下巻」、化学同人
- ・長瀬 博 テノミック監訳、「最新創薬科学改訂第2版 上下」
- ・松原憲一他 監訳、「細胞の分子生物学第5版」、教育社

【修士学位取得条件】

学会発表可能な研究成果を挙げ、自ら発表できること。

【博士学位取得条件】

原著論文(最低1報)が採択されること。